

平成29年度 第3回 「一日体験ボランティア」

平成29年11月19日（日）実施の報告

「ウェルフェアテクノハウス弘前」にて 福祉用具体験及び高齢者疑似体験してみませんか？

今年度第3回の「一日体験ボランティア」は、「ウェルフェアテクノハウス弘前」にて「福祉用具体験及び高齢者疑似体験してみませんか？」というタイトルで行われました。

当日は、体験参加者2名、ボランティア支援センターから3名でした。

「ウェルフェアテクノハウス弘前」は、在宅介護をやさしく支えるための福祉機器と住宅仕様をモデル展示した“在宅介護機器の家”です。介護を受ける人にとっても、また介護する人にとっても暮らしやすい、様々なやさしい生活環境を提案している施設です。

担当の市福祉政策課嘱託員さんの案内で、玄関の造りの説明から始まり、1階の障害者用トイレ、浴室、昇降式システムキッチン、天井走行リフトなどの説明がありました。天井走行リフトには体験参加者が実際乗って体験をしていました。「介助者がいないと結構揺れた。」と話していました。

ホームエレベーターで2階に上がり、介護用ベッド、さまざまな自助具、何種類かの車椅子、立ち上がり補助椅子にも実際乗って体験をしていました。

その後は、さまざまな装具を身につけて、高齢者になった場合の動作を体験することができる「高齢者疑似体験」を行いました。足首や膝、肘が曲がりにくくなるサポーターをつけたり、耳栓をしたり、白内障のように見える眼鏡をかけ、指が思うように動かなくなるよう二重の手袋と指サポーターをして、杖をついての体験をしました。その状態で新聞紙をめくる、細かい文章を読む、シャツのボタンを外してとめる、階段の上り下りをする、浴槽の出入りなどを体験しました。実際体験した2名は、「思っていた以上に動きづらい。」「周りの声はかなり聞こえにくい。」「ボタンはとめる方がすごく難しい。」などといった感想を述べていました。

今回の福祉用具体験及び高齢者疑似体験は、参加者が始まりから終わりまで楽しそうに参加していました。また、疑問に思うことやわからないことも気さくに聞いて、「高齢者疑似体験ができて良かった。」「高齢者や障がい者の方と関わってみたい。」等の感想がありました。体験参加者は、今回の一日体験ボランティアを通して、ボランティアって楽しいと感じ、今後のボランティアを始めるきっかけになっているように思いました。